



2027年1月期 中間決算説明資料



2026年9月14日
株式会社丸千代山岡家
東証スタンダード（証券コード:3399）



目 次

会社概要・沿革	P 3 ～ P 5
2027年1月期 中間期 決算概要	P 6 ～ P22
参考資料	P23 ～ P34



会社概要

社名	株式会社丸千代山岡家
本社所在地	北海道札幌市東区東雁来7条1丁目4-32
関東事務所	茨城県つくば市小野崎127-1
設立	1993年3月8日
代表者	代表取締役社長 一由聡
資本金	3億2,583万2,000円
従業員数	7,944名(うち正社員821名) ※2026年7月31日現在
事業内容	ラーメン山岡家、煮干しラーメン山岡家、 味噌ラーメン山岡家、餃子の山岡家、 農業事業、外販・卸売事業 通販サイト「山岡家商店」の運営
店舗数	200店舗 ※2026年7月31日現在



【ラーメン事業の経営方針・戦略】

- 郊外のロードサイドを中心に全店直営で出店

※山岡家グループ全店で200店舗(2026年7月末現在・当社所有のコメダ珈琲FC店舗含む)

- 年中無休、24時間営業を基本とした営業体制
- 主要食材を店内で仕込み、手作りにこだわった商品提供
- 経営ビジョンは300店舗、全国47都道府県の店舗展開



沿革

- 1980年 2月 東京都に(有)丸千代商事を設立し創業
- 1988年 9月 茨城県牛久市に「ラーメン山岡家牛久店」開店
- 1993年 3月 札幌市中央区に(株)山岡家を設立
- 2002年 2月 (株)丸千代商事を吸収合併し、(株)丸千代山岡家に商号変更
- 2006年 2月 ジャスダック証券取引所へ上場
- 2009年12月 ラーメン山岡家100店舗達成
- 2016年 1月 2016年1月期売上高100億円突破 年間来客数1,000万人突破
- 2017年 3月 全店で150店舗達成
- 2021年 3月 「味噌ラーメン山岡家すすきの店」開店
- 2022年 1月 2022年1月期売上高150億円突破 年間来客数1,600万人突破
- 4月 東京証券取引所の市場区分見直しに伴い、東京証券取引所スタンダードへ移行
- 2023年10月 山岡家公式アプリをリリース
- 10月 新業態の「煮干しラーメン山岡家」を札幌市中央区に1号店出店
- 2026年 1月 2026年1月期売上高430億円突破 年間来客数3,900万人突破
- 2026年 7月 **2027年1月期中間売上高228億円、経常利益25億円と過去最高を更新**
- 7月 全店で200店舗達成



煮干しラーメン山岡家

味噌ラーメン山岡家

餃子の山岡家

ラーメン山岡家189店舗、その他の業態11店舗(2026年7月31日現在)



2027年1月期 中間決算概要





2027年1月期 中間期実績①

累計実績

売上高 : 22,868百万円 (前年同期比15.4%増)

経常利益: 2,538百万円 (前年同期比26.8%増)

総 評

- ✓ 売上高は、前年同期比15.4%増となり、前期から3,052百万円増収
- ✓ 売上高は、当初計画から429百万円の上振れで着地
- ✓ 経常利益は、前年同期比26.8%増となり、前期から536百万円増益
- ✓ 経常利益は、当初計画から492百万円の上振れで着地
- ✓ 既存店は、前年同期比で売上高9.5%増、来店客数は7.6%増で、計画に対し順調に推移
- ✓ 中間純利益は前年同期比29.3%増となり、1,778百万円で着地
- ✓ 原価上昇分を販管費で吸収でき、売上・各利益とも中間期計画値を達成



2027年1月期 中間期実績②

(単位:百万円 %)

	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q実績	累計	比率
売上高	11,059	11,809	—	—	22,868	100.0
売上原価	3,421	3,670	—	—	7,091	31.0
売上総利益	7,638	8,138	—	—	15,777	69.0
販管費	6,455	6,834	—	—	13,289	58.1
営業利益	1,183	1,304	—	—	2,487	10.9
経常利益	1,206	1,332	—	—	2,538	11.1
中間純利益	854	924	—	—	1,778	7.8

- ✓ 中間期ベースで、売上・各利益とも過去最高を更新
- ✓ 「ラーメン山岡家高松中央インター店」の四国初出店を含む5店舗を新規出店、他、移転による出店1店舗
- ✓ 新店舗の売上は好調で既存店売上は概ね計画通りに推移
- ✓ 今期から定期賞与を開始し、上期は154百万円を支給
- ✓ 経常利益率は11.1%となり、中間期は11%台を達成



2027年1月期 中間期実績 対前年比較

(単位:百万円 %)

	2026年1月期 中間期実績(A)	売上 比率	2027年1月期 中間期実績(B)	売上 比率	対前年比較 (B)－(A)	
					金額	比率差
売上高	19,816	100.0	22,868	100.0	3,052	—
売上原価	6,016	30.4	7,091	31.0	1,075	0.6
売上総利益	13,799	69.6	15,777	69.0	1,978	△0.6
販管費	11,840	59.7	13,289	58.1	1,449	△1.6
営業利益	1,958	9.9	2,487	10.9	529	1.0
経常利益	2,002	10.1	2,538	11.1	536	1.0
中間純利益	1,375	6.9	1,778	7.8	403	0.9

- ✓ 既存店売上高は52ヶ月連続で対前年同月の売上を超え、既存店が好調を維持し前年から3,052百万円の増収
- ✓ 売上原価は一部食材の高騰が続き、前年から0.6ポイント悪化(卵、ラードなど)
- ✓ お米は、前年の高騰から落ち着き、単価は下落傾向
- ✓ 売上総利益率は前期から0.6ポイント悪化したが、売上高増加等により固定費比率が下がり営業利益・経常利益とも増益



2027年1月期 中間期実績 計画対比

(単位:百万円 %)

	2027年1月期 中間期計画(A)	売上 比率	2027年1月期 中間期実績(B)	売上 比率	予算比較 (B)－(A)	
					差額	比率差
売上高	22,439	100.0	22,868	100.0	429	—
売上原価	6,902	30.8	7,091	31.0	189	0.2
売上総利益	15,537	69.2	15,777	69.0	240	△0.2
販管費	13,542	60.4	13,289	58.1	△253	△2.3
営業利益	1,995	8.9	2,487	10.9	492	2.0
経常利益	2,046	9.1	2,538	11.1	492	2.0
中間純利益	1,393	6.2	1,778	7.8	385	1.6

- ✓ 売上原価は一部食材の仕入価格上昇により計画から0.2ポイント上昇
- ✓ 販管費は売上高上昇による固定費比率等の低下により2.3ポイントの改善(家賃や光熱費、など)
- ✓ 粗利率は悪化したが、販管費率が下がったため、各利益ともに計画値を達成
- ✓ 2027年1月期中間期の決算時点では減損損失の計上なし
- ✓ 上期計画に対して、原価の上昇に対し販管費で吸収出来ており、業績は順調に推移



2027年1月期 中間期実績 コスト内訳

(単位:百万円 %)

		2027年1月期 中間期計画(A)	売上 比率	2027年1月期 中間期実績(B)	売上 比率	対計画比較(B)-(A)	
						金額	比率差
売上高		22,439	100.0	22,868	100.0	429	—
売上原価		6,902	30.8	7,091	31.0	189	0.2
売上総利益		15,537	69.2	15,777	69.0	240	△0.2
販売費及び一般管理費	給与・雑給	6,949	30.9	6,840	29.9	△109	△1.0
	法定福利費	692	3.1	723	3.2	31	0.1
	水道光熱費	1,525	6.8	1,515	6.6	△10	△0.2
	広告宣伝費	243	1.1	168	0.7	△75	△0.4
	衛生費	236	1.1	274	1.2	38	0.1
	地代家賃	552	2.5	550	2.4	△2	△0.1
	保守管理費	446	2.0	387	1.7	△59	△0.3
	減価償却費	367	1.6	371	1.6	4	0.0
	その他	2,532	11.3	2,461	10.8	△71	△0.5
	計	13,542	60.4	13,289	58.1	△253	△2.3

- ✓ 食材仕入価格の一部値上げにより、売上原価は0.2ポイント上昇 但し、お米は高騰が落ち着き価格下落へ移行
- ✓ 人件費は1.0ポイント低下、シフトの適正化等により雑給が抑えられ、計画値を下回ったことが主な要因
- ✓ 水道光熱費は、中東情勢の影響によりガス単価は上昇したが、売上上昇分で吸収でき売上比率は計画値内で推移
- ✓ 食材管理の徹底を行い、在庫量の適正化を図り倉庫保管料は減少したが、配送費は増加傾向



貸借対照表・キャッシュフロー計算書

貸借対照表

(単位:百万円)

	2027年1月期中間	前期末比増減		2027年1月期中間	前期末比増減
流動資産	8,991	△852	流動負債	6,196	△661
棚卸資産	1,680	△168	1年以内返済借入金・社債	463	△133
固定資産	9,244	805	固定負債	1,062	△232
有形・無形固定資産	7,587	735	長期借入金・社債	985	△215
投資その他の資産	1,657	70	純資産	10,976	846
資産合計	18,235	△47	負債・純資産合計	18,235	△47

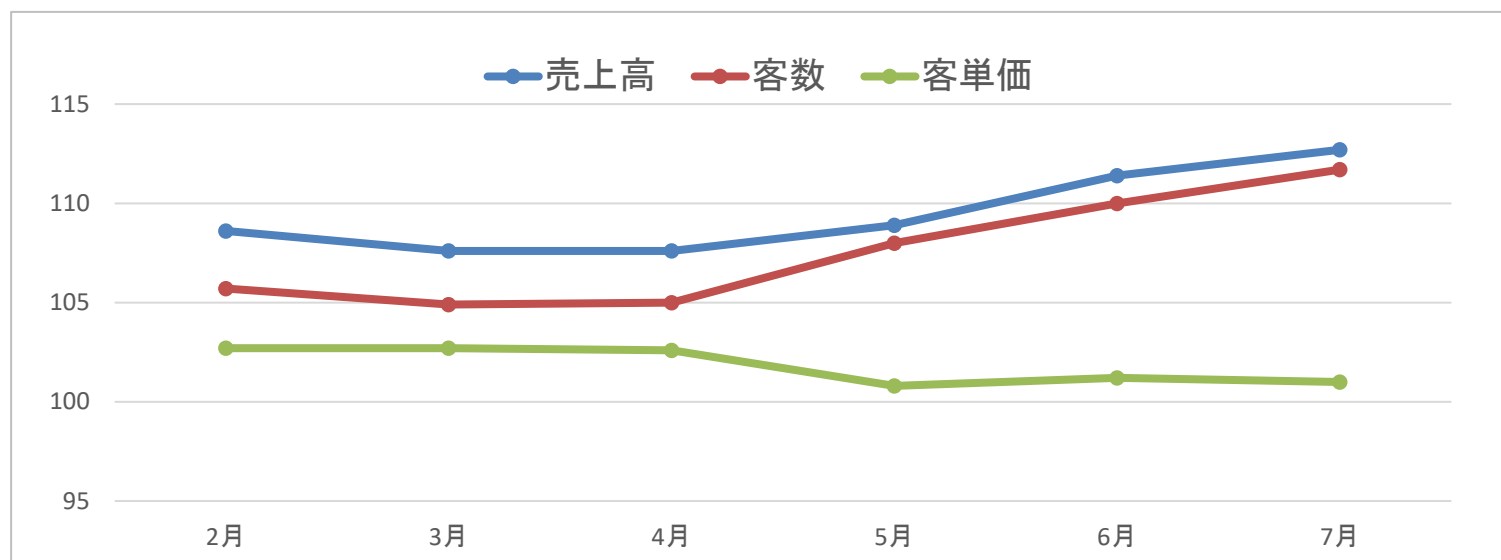
キャッシュフロー計算書

(単位:百万円)

	2026年1月期中間	2027年1月期中間
営業活動によるキャッシュフロー	921	1,559
投資活動によるキャッシュフロー	△998	△1,001
財務活動によるキャッシュフロー	△809	△1,322



2027年1月期 既存店売上高推移(対前年比)

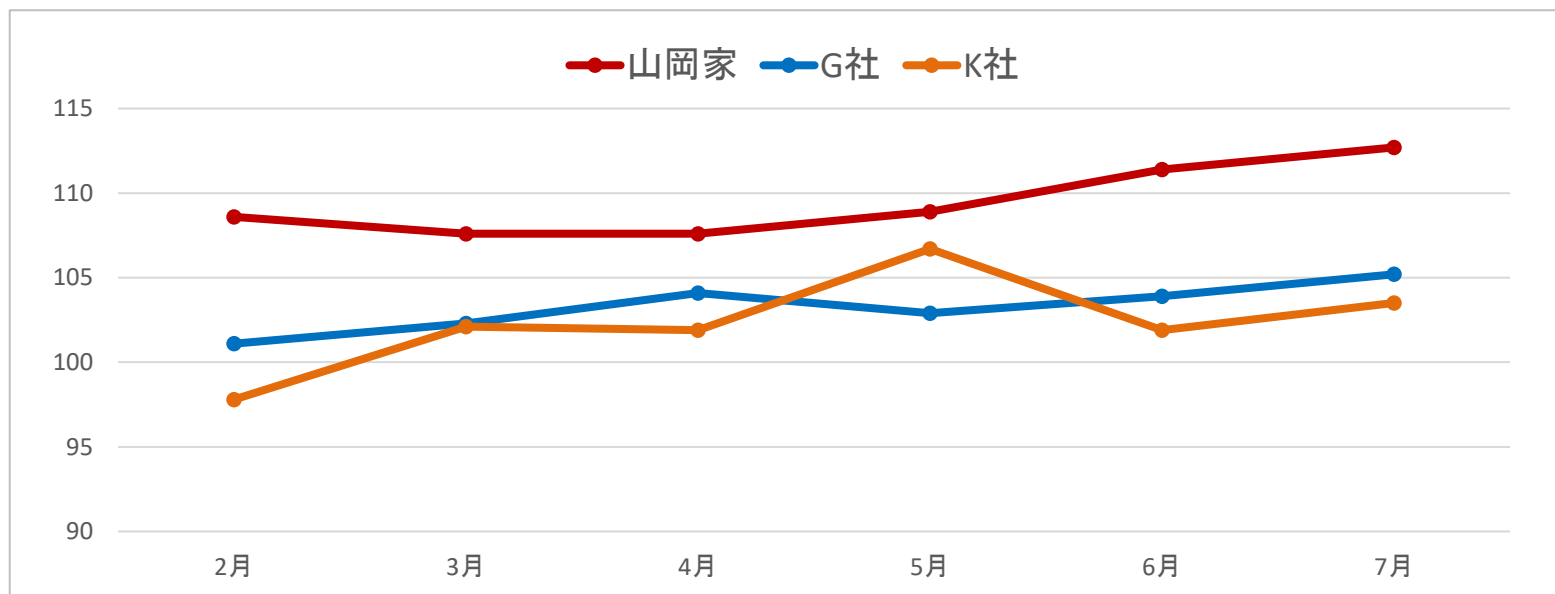


(単位: %)

	2027年1月期						
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	計
売上高	108.6	107.6	107.6	108.9	111.4	112.7	109.5
客数	105.7	104.9	105.0	108.0	110.0	111.7	107.6
客単価	102.7	102.7	102.6	100.8	101.2	101.0	101.8



ラーメンチェーンとの既存店売上高 対前年比較



- ✓ 当社は上期既存店売上高対前年比が100%以上を継続し、既存店売上高は52ヶ月連続で前年同月超え（2026年7月末時点）
- ✓ 大手ラーメンチェーンは既存店売上高が概ね前年比100%を維持するなか、当社も前年比9.5%増と好調に推移
- ✓ 当社の既存店客数は対前年比で7.6%増と売上の伸びを牽引
- ✓ 客単価は昨年4月の値上げが一巡し、5月以降は101%前後で推移



2027年1月期 出店状況

- ✓ 2026年7月に出店したラーメン山岡家武蔵村山店で200店舗を達成
- ✓ 山岡家は売上好調エリア・関西以西への出店が中心、煮干し業態は下期1店舗の出店を予定
- ✓ 15店舗の出店計画に対し2店舗が来期に繰り越しとなり、現時点では今期出店13店舗となる見込み



【出店実績(7月末まで)】

	店舗名	オープン日	住所
1	味噌ラーメン山岡家阿見店	2026年3月11日	茨城県稲敷郡阿見町西郷3丁目1-7
2	ラーメン山岡家高松中央インター店	2026年4月3日	香川県高松市林町2538-2 ※香川県初出店
3	ラーメン山岡家福岡月隈店	2026年4月22日	福岡県福岡市博多区立花寺1丁目7-34
4	ラーメン山岡家瑞穂店(移転)	2026年5月26日	東京都西多摩郡瑞穂町武蔵54-1
5	ラーメン山岡家大曲店	2026年6月17日	北海道北広島市大曲幸町2丁目4番1
6	ラーメン山岡家武蔵村山店	2026年7月25日	東京都武蔵村山市神明3丁目133-3

【下期の予定】

	店舗名	オープン予定日	住所
1	ラーメン山岡家富山太郎丸店	2026年9月29日予定	富山県富山市太郎丸西町
2	ラーメン山岡家越谷袋山店	2026年10月16日予定	埼玉県越谷市袋山
3	煮干しラーメン山岡家瑞穂店(旧瑞穂店改装)	2026年10月22日予定	東京都西多摩郡瑞穂町
4	ラーメン山岡家大和郡山店	2026年11月予定	奈良県大和郡山市 ※奈良県初出店
5	ラーメン山岡家新宮店	2026年12月予定	福岡県糟屋郡新宮町
6	ラーメン山岡家福山南蔵王店	2026年12月予定	広島県福山市南蔵王町
7	ラーメン山岡家北谷店	2027年1月予定	沖縄県中頭郡北谷町 ※沖縄県初出店

7月末時点の今期
出店見込み

13店舗

※移転1店舗含む



2027年1月期 エリア別出店状況

北海道・東北エリア

	2026年1月末 店舗数	増減	2026年7月末 店舗数
北海道	55	1	56
宮城県	4	—	4
福島県	4	—	4
山形県	2	—	2
秋田県	2	—	2
岩手県	2	—	2
青森県	4	—	4

東海・近畿・北陸エリア

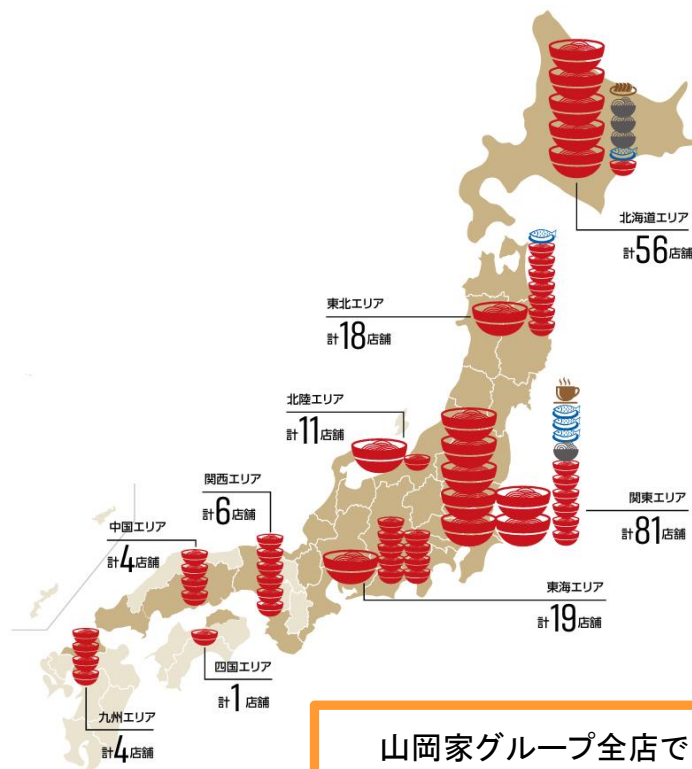
	2026年1月末 店舗数	増減	2026年7月末 店舗数
静岡県	7	—	7
岐阜県	1	—	1
愛知県	8	—	8
三重県	3	—	3
新潟県	5	—	5
富山県	2	—	2
石川県	2	—	2
福井県	2	—	2
和歌山県	2	—	2
滋賀県	1	—	1
兵庫県	3	—	3

関東圏エリア

	2026年1月末 店舗数	増減	2026年7月末 店舗数
茨城県	19	1	20
群馬県	8	—	8
栃木県	11	—	11
千葉県	16	—	16
埼玉県	12	—	12
東京都	2	1	3
神奈川県	4	—	4
山梨県	4	—	4
長野県	3	—	3

中四国・九州エリア

	2026年1月末 店舗数	増減	2026年7月末 店舗数
岡山県	1	—	1
広島県	1	—	1
山口県	2	—	2
香川県	0	1	1
福岡県	3	1	4



山岡家グループ全店で
200店舗達成
※2026年7月末現在

合計

北海道・東北	関東圏	東海・近畿・北陸	中四国・九州	2026年7月末 店舗数
74	81	36	9	200



2027年1月期上期 期間限定メニューの紹介

ラーメン山岡家





煮干しラーメン 山岡家




味噌ラーメン 山岡家



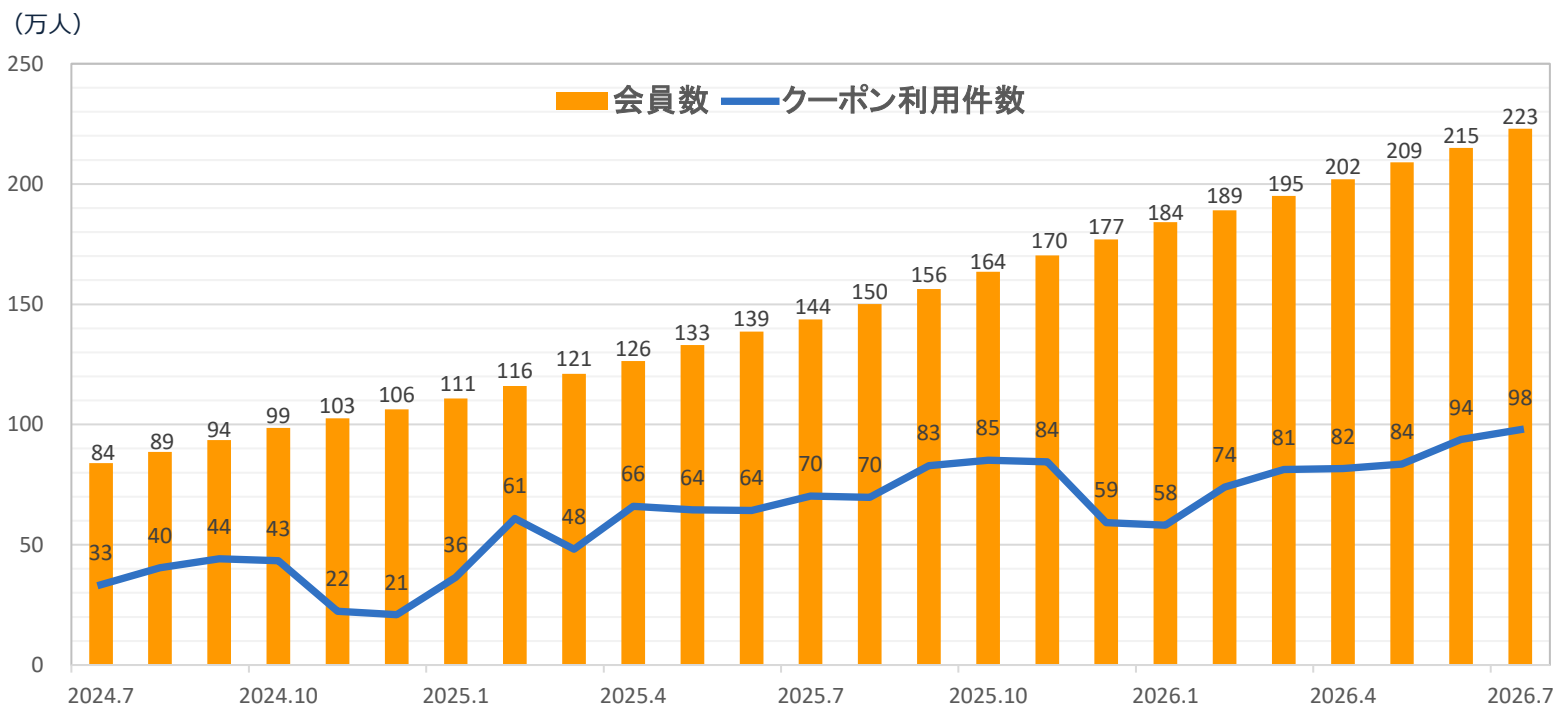

- ✓ 山岡家で3品、煮干しラーメン山岡家で2品、味噌ラーメン山岡家で2品の期間限定商品を販売
- ✓ ラーメン山岡家では、新商品の「豚バラなんこつラーメン」「和節とんこつ醤油ラーメン」などを販売
- ✓ 煮干しラーメン山岡家では、旬の食材「鰯」を使用した「冷製梅煮干しラーメン」などを販売
- ✓ 味噌ラーメン山岡家では、新商品の「特製赤味噌ラーメン」などを販売

●総客数に対する販売実績(一部抜粋)

豚バラなんこつラーメン	7.4%
極旨サバまぜそば	6.8%
にんにくスタミナ味噌ラーメン	6.8%



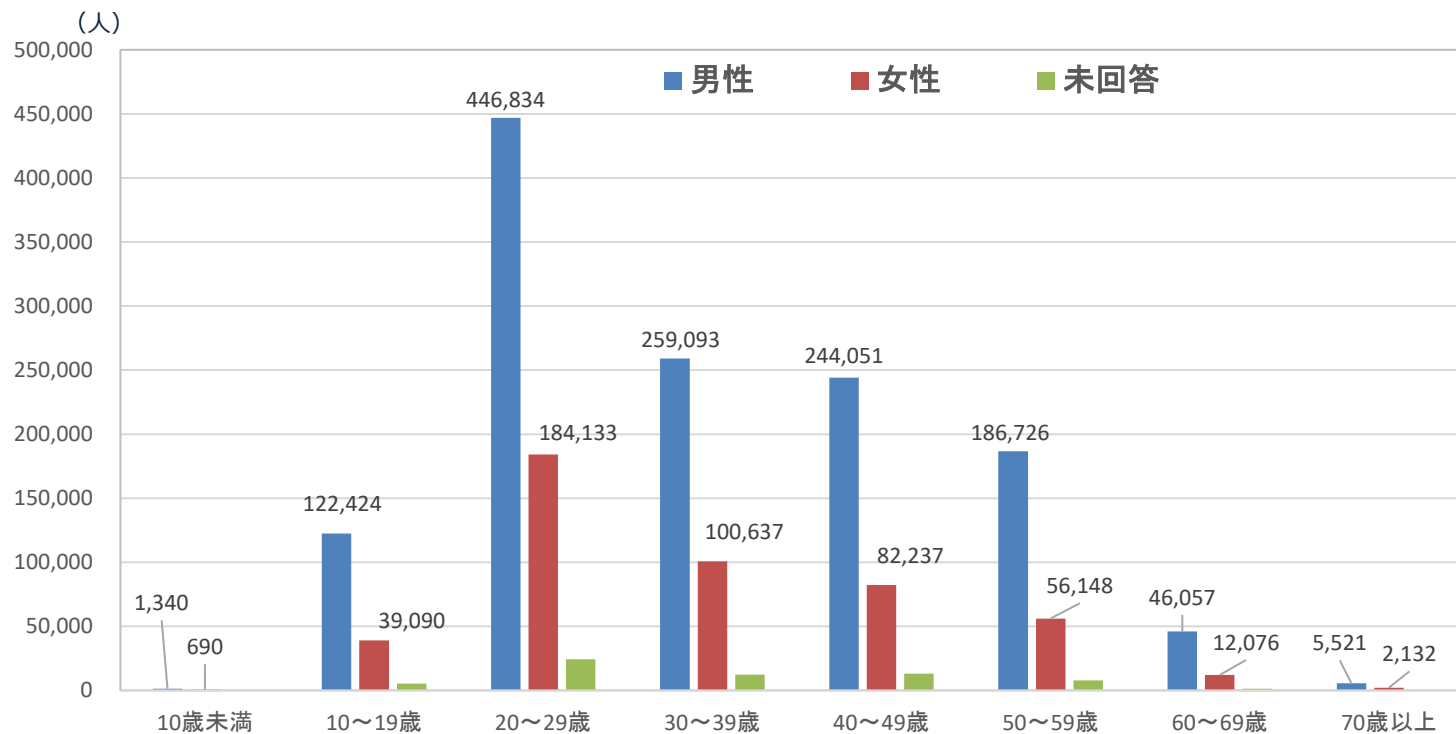
当社アプリ会員数とクーポン利用数の推移



- ✓アプリ会員数は月平均で約6.5万人増加し、2026年7月時点で約223万人
- ✓2025年2月からクーポンを毎週配信し、集客効果がアップし売上増加に貢献
- ✓週単位での全会員向けクーポンに加え、ポイントランク別・ポイント交換のクーポンを配信し、訴求効果を向上



アプリ会員の年齢構成



- ✓幅広い年齢層から支持を受けているが、うち20歳代は全体の約35%と多い
- ✓当社店舗に関する動画配信やSNS投稿が話題性を高め、若年層や女性客の増加につながっていると推測



2027年1月期 上期の取組み

- (1) 上期は5店舗の新規出店と1店舗の移転(瑞穂店)
- (2) 15店舗の出店計画のうち、上期実績6店舗、下期予定7店舗の計13店舗出店見込み
- (3) 味噌ラーメン山岡家阿見店の新規出店により、味噌業態は3店舗を達成
- (4) 店舗老朽化に伴う改装は、2店舗(岩瀬店・釧路店)を実施
- (5) 店舗売上高に応じた寸胴サイズと豚骨使用量の見直しを実施
- (6) 各仕込技術やサービスのスペシャリスト育成に向けた、技能検定・マイスター認定の実施
- (7) 北海道北広島市に「大曲トレーニングセンター」を開設(7月)
- (8) 動画マニュアル導入によるQSCの向上と安定化を推進
- (9) 公式アプリ会員数223万人到達、アプリクーポンの週次配信による集客力アップ
- (10) お客様の利便性向上のため、アプリクーポンを券売機発券へ変更し業務効率化を実施
- (11) 定期的な期間限定商品販売による来店頻度向上と新規顧客開拓
- (12) サイバーセキュリティ向上を目的とした外部コンサルタントとの連携継続
- (13) 3期連続で健康経営優良法人に認定
- (14) 業務拡大に対応するための本部人材の増員
- (15) 上期は中途採用71名、社員登用16名、計87名の正社員採用



2027年1月期 上期まとめ

「売上高の好調要因」

- ・アプリ会員増加(223万人到達)による顧客層の拡大
- ・年中無休、24時間営業を基本として、飽きのこない当店でしか食べられないラーメンの提供
- ・SNS等による当社紹介の動画配信により認知度が上がり、新店・既存店の集客力が向上
- ・西日本エリアの新規店舗の好調な売上推移

「コスト面」

- ・今期も売上増加により、家賃・光熱費の売上比率が低く抑えられている傾向が継続
- ・主要食材の計画的な仕入と在庫管理の適正化により、食材関連コストをコントロール
- ・人件費や光熱費など販管費比率は計画値よりも低く抑えられ、原価率上昇分を吸収
- ・建築費、資材費等の出店関連コストは増加傾向

「その他」

- ・15店舗の出店計画に対し2店舗が来期に繰り越しとなり、今期出店は移転を含む13店舗となる見込み
- ・北海道北広島市にトレーニングセンターを開設
- ・今後の出店と既存店の人材確保および育成が課題

以上の結果、

中間期売上高は前年同期比15.4%増の22,868百万円、経常利益は前年同期比26.8%増の2,538百万円、中間純利益は前年同期比29.3%増の1,778百万円となった。



配当・株主優待

✓ 配当

2027年1月31日基準日の株主様へ30円の配当を予定

※2028年1月期までに、段階的に配当性向を20%まで引き上げることを目標としております。

✓ 株主優待

100株以上200株未満の株主様に年2回(1月末・7月末基準日)、ラーメン無料券を贈呈

200株以上の株主様に年2回、ラーメン無料券もしくは、北海道米の「おぼろづき」

当社通販サイトで販売している乾麺セットのいずれかを贈呈

✓ 2026年1月31日基準日の株主優待の申し込み状況

(1) 株主優待お申込み状況 対象株主の96.8%と高い水準を維持 ※一律発送分を含む

(2) 優待の商品受注比率 ラーメン無料券71.8% お米18.5% 乾麺9.7%

保有株式	内容
100株以上200株未満	①ラーメン無料券2枚
200株以上500株未満	①ラーメン無料券3枚 ②お米2kg ③乾麺セット1個 のいずれか
500株以上1,000株未満	①ラーメン無料券5枚 ②お米4kg ③乾麺セット2個 のいずれか
1,000株以上2,000株未満	①ラーメン無料券7枚 ②お米6kg ③乾麺セット3個 のいずれか
2,000株以上	①ラーメン無料券9枚 ②お米8kg ③乾麺セット4個 のいずれか





参考資料





業界データ

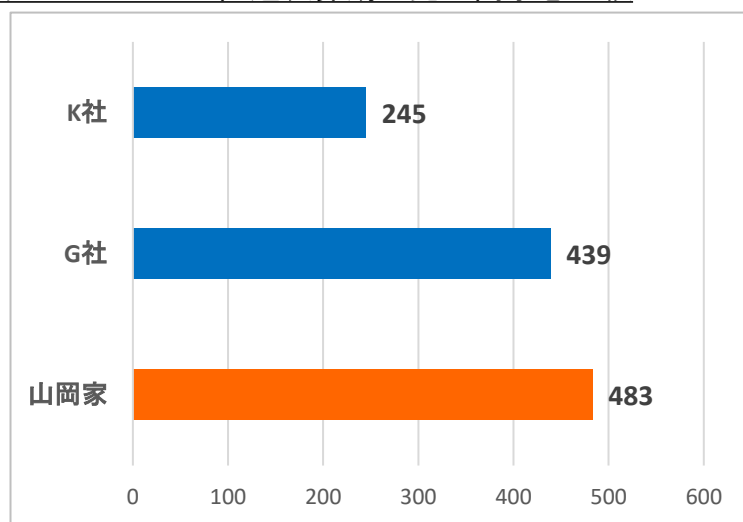
【当社推定のラーメン業界データ】

ラーメン市場は、2025年度は約8,855億円に達したと推定され、早ければ2027年度にも1兆円市場に到達する可能性があるなど、成長が期待される市場です。

一方、全国には大手チェーンだけでなく、多数の中小・個人経営のラーメン店が存在しており、市場全体として店舗展開によるシェア拡大の余地はまだ大きいと考えております。

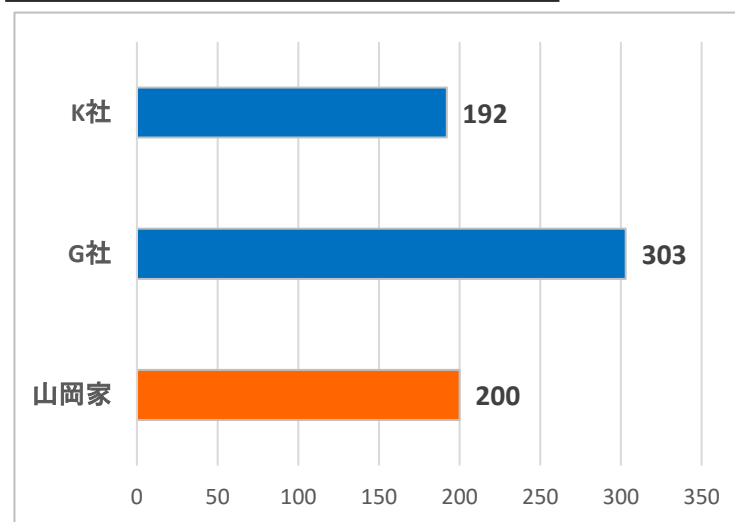
今後も、出店エリアの拡大や人材の確保・育成、オペレーションの効率化等により、ブランド力を強化し事業の拡大を図ってまいります。

ラーメンチェーン直近決算期の売上高予想比較



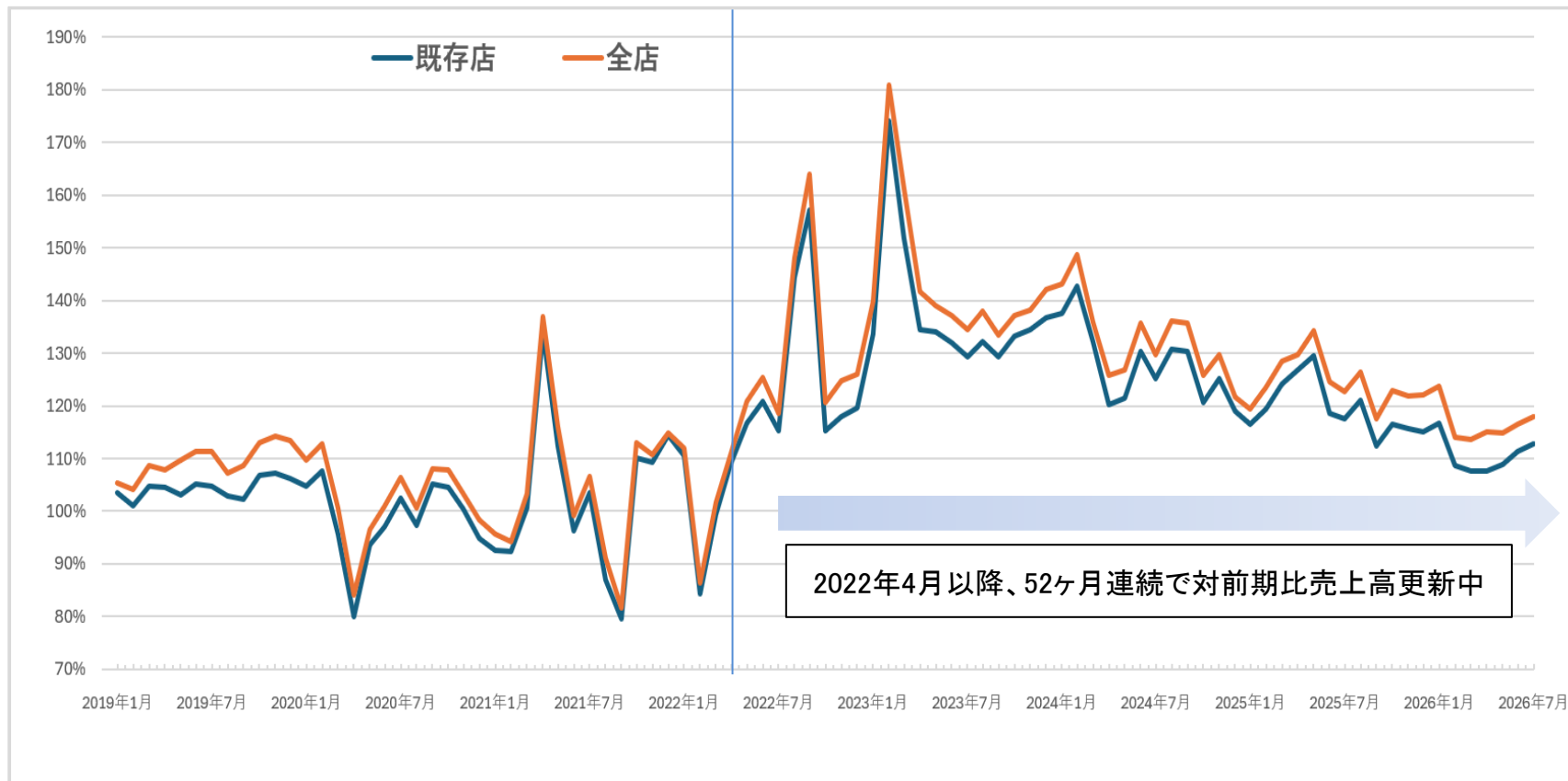
(単位: 億円)

ラーメンチェーン2026年7月末店舗数比較



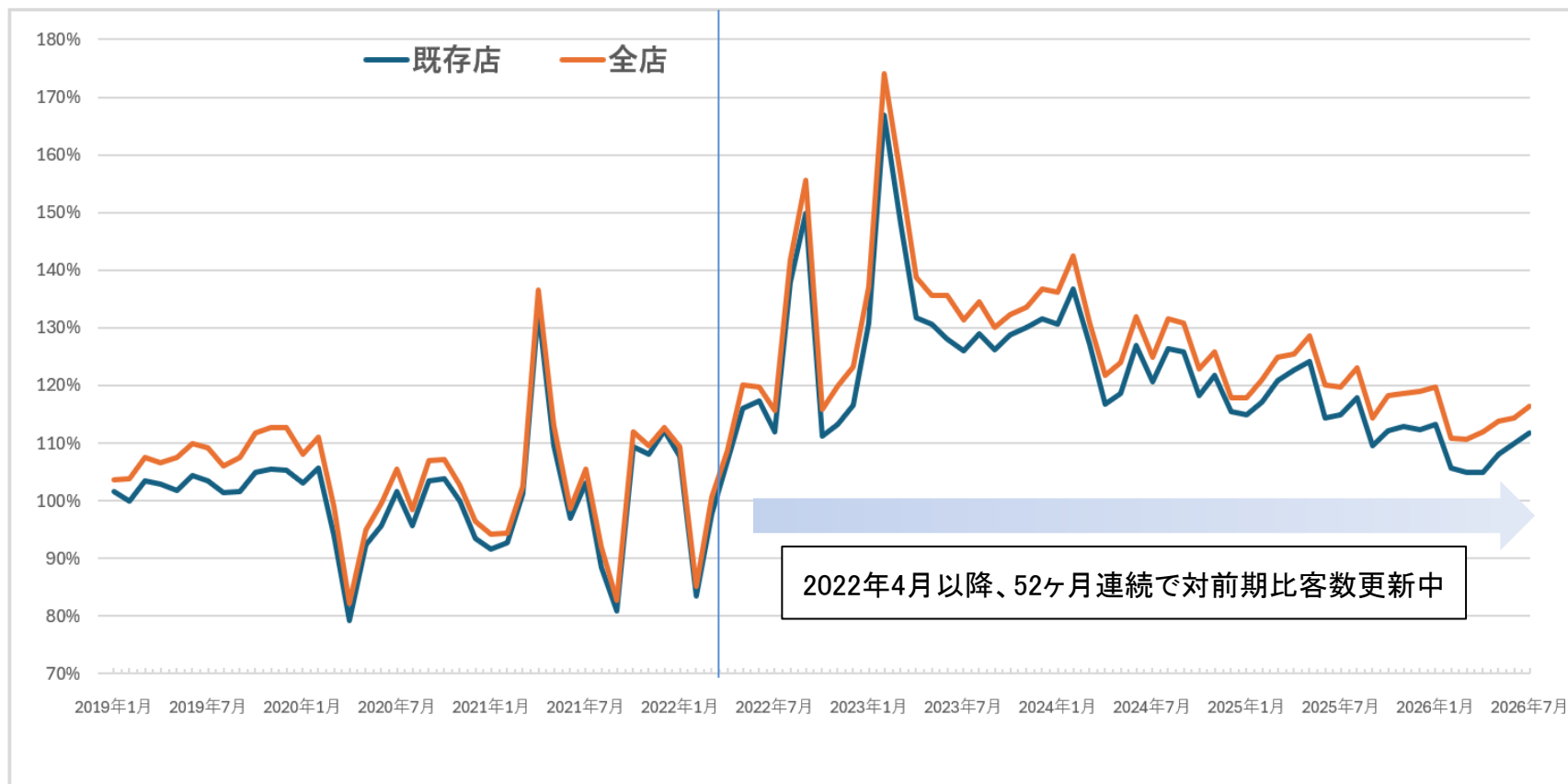


月次売上高推移(対前期比)



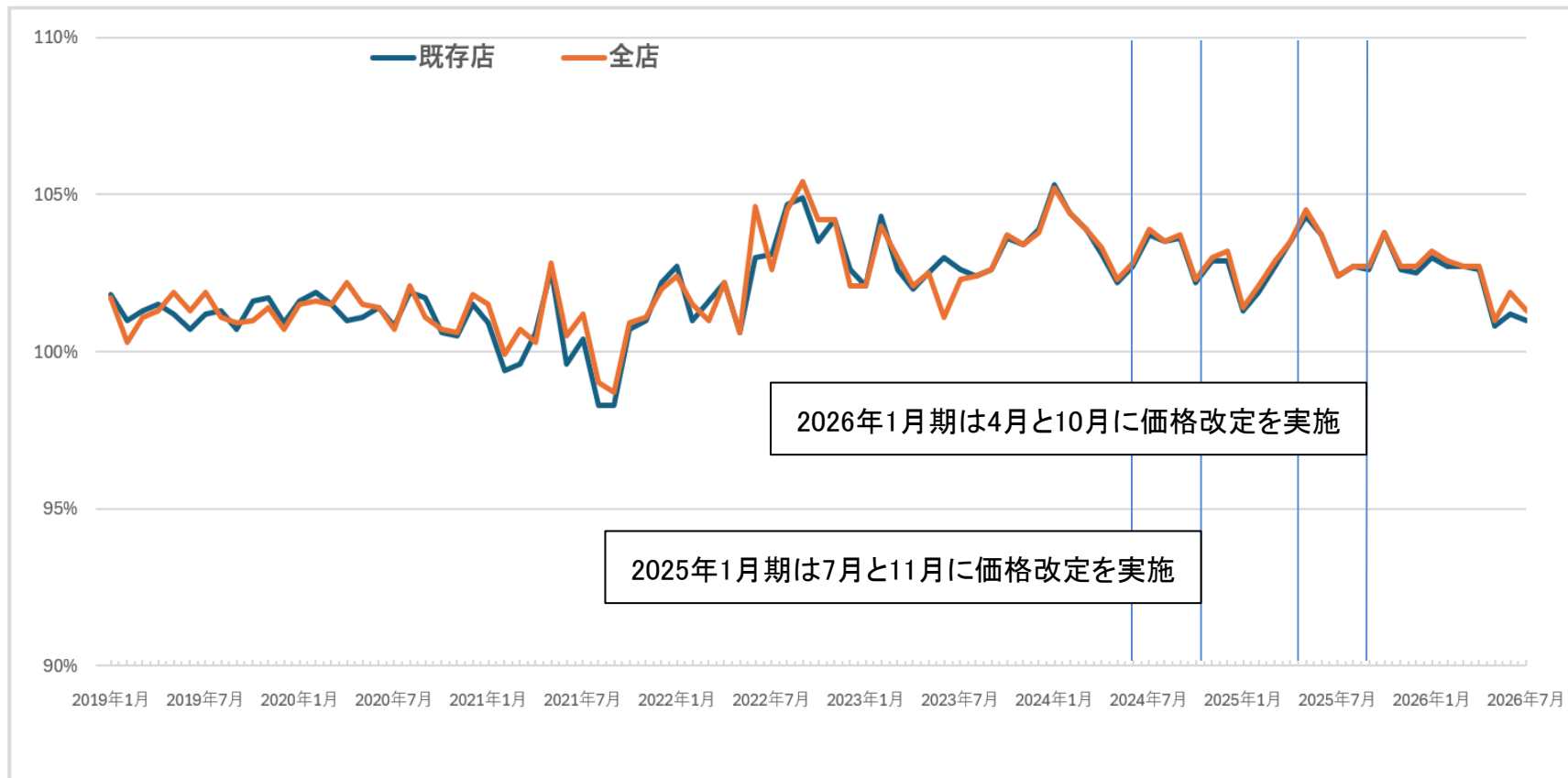


月次客数推移(対前期比)



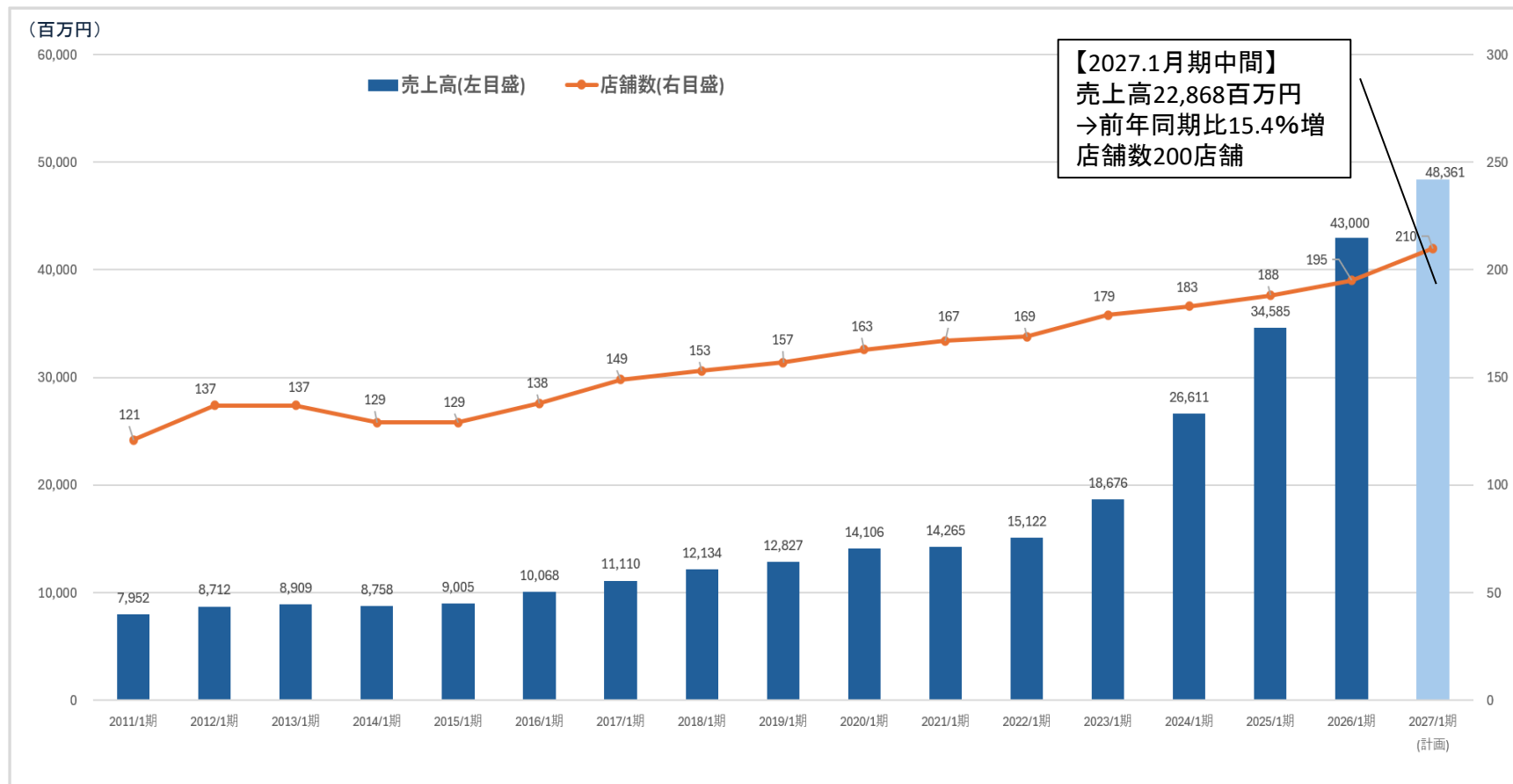


月次客単価推移(対前期比)



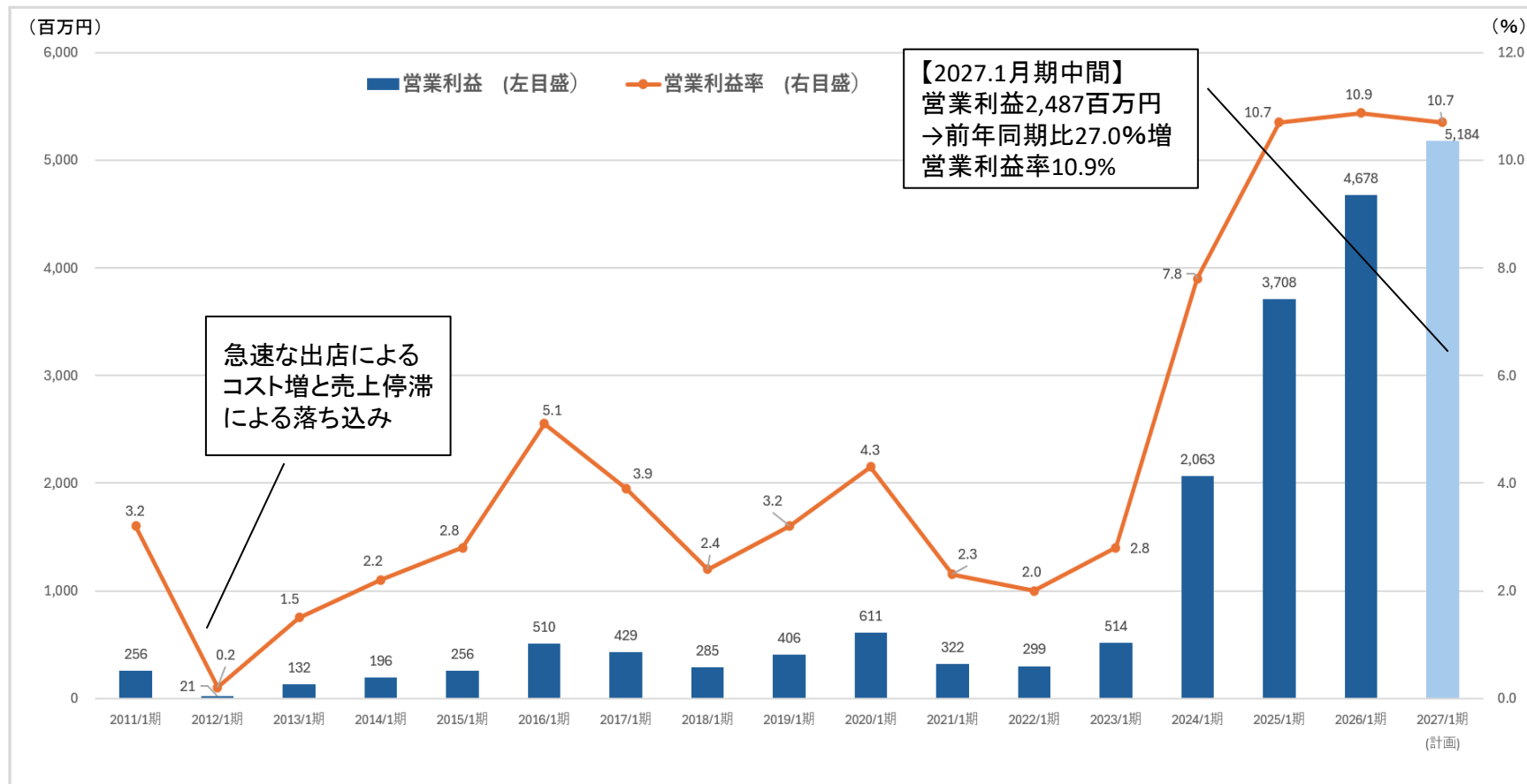


売上高と店舗数の推移



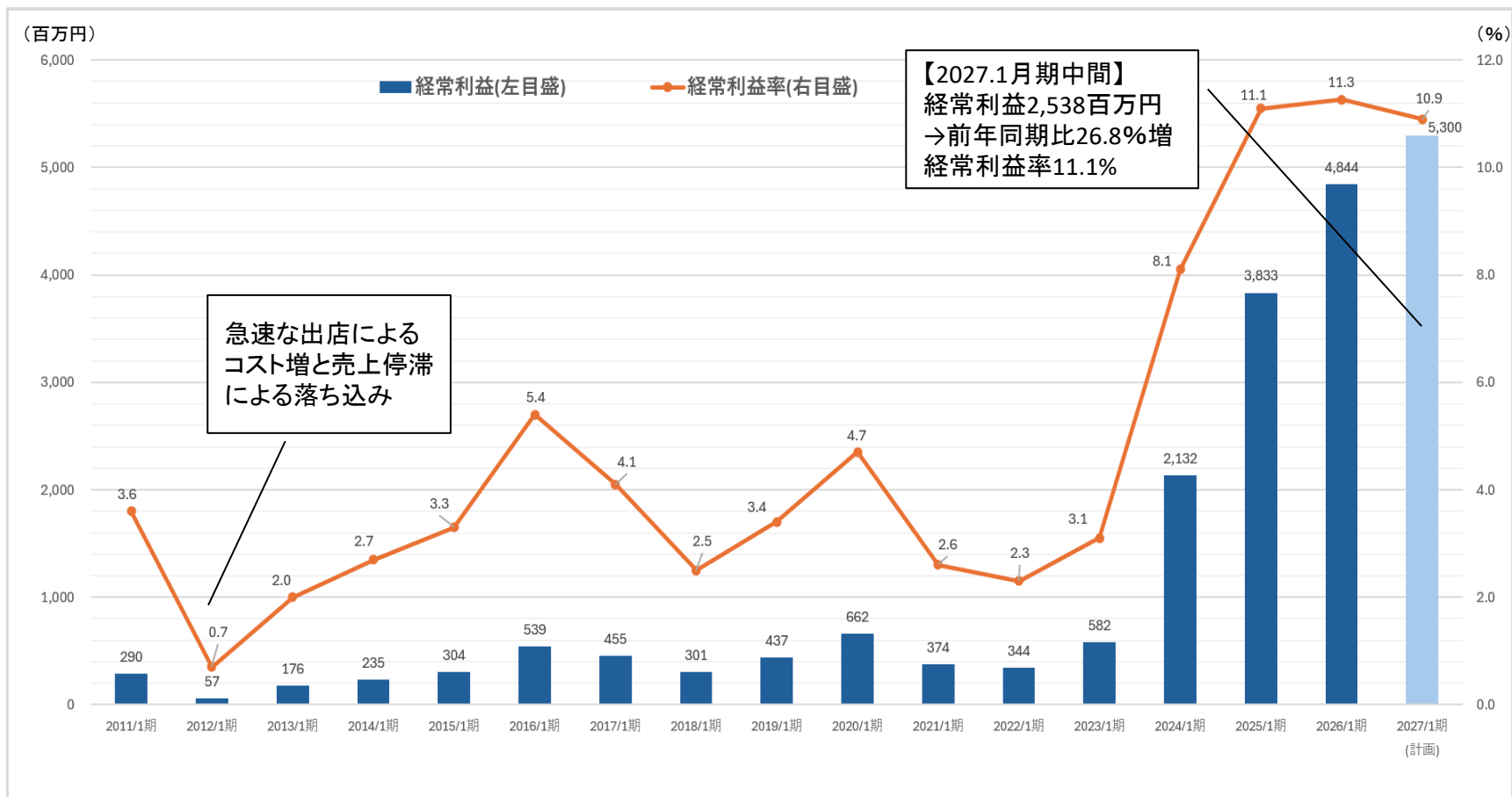


営業利益と営業利益率の推移



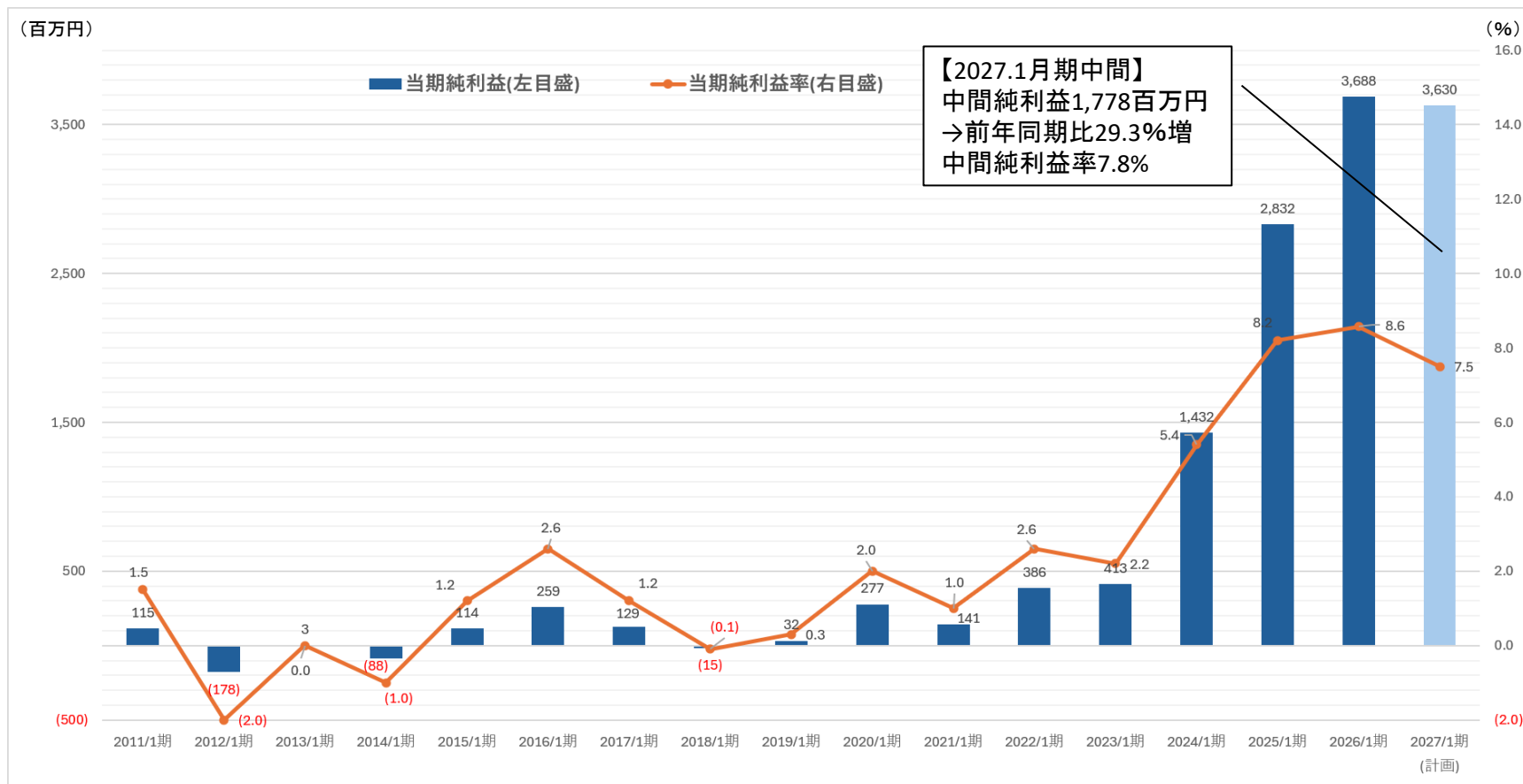


経常利益と経常利益率の推移



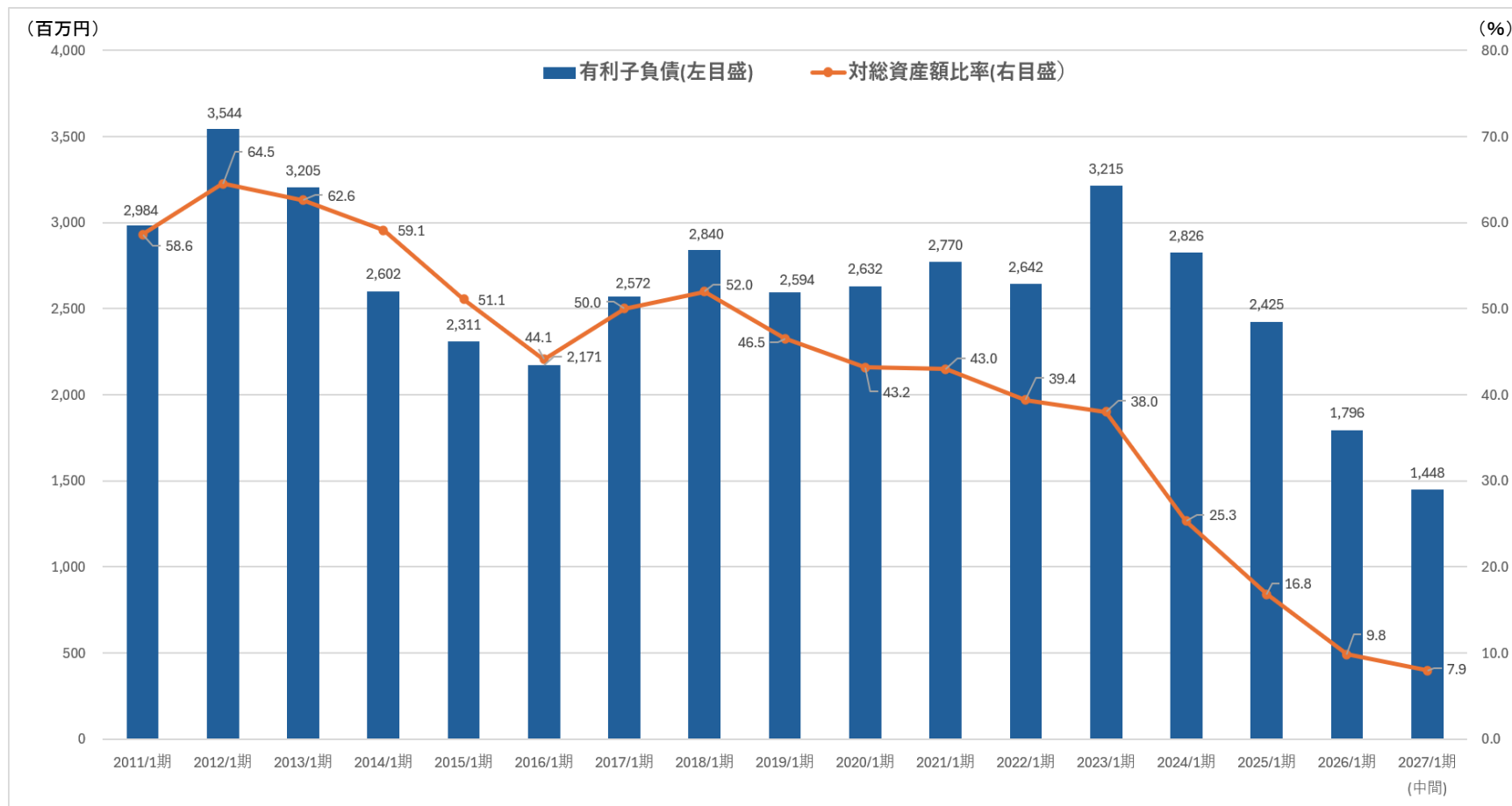


当期純利益と当期純利益率の推移



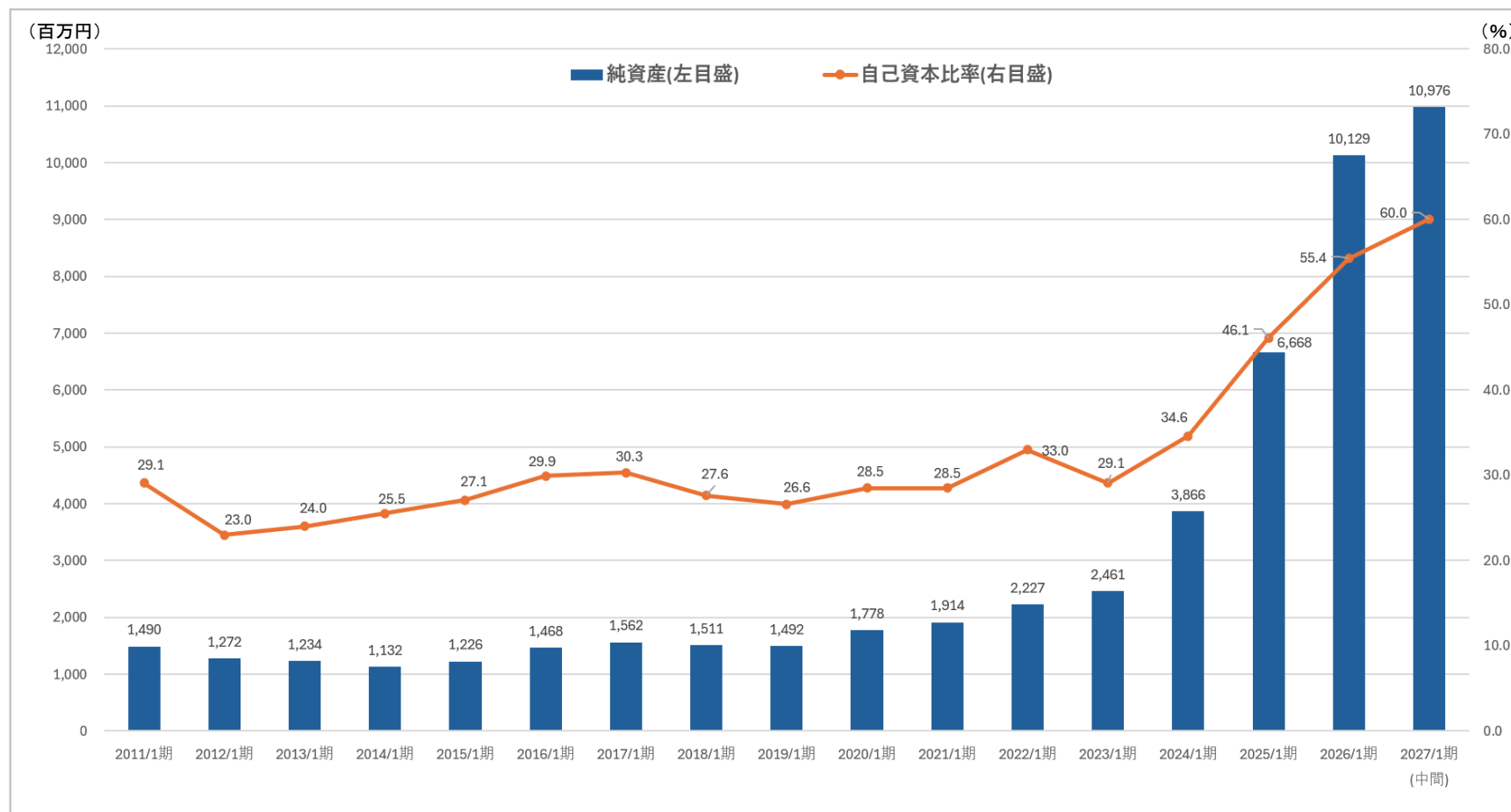


有利子負債と対総資産比率の推移



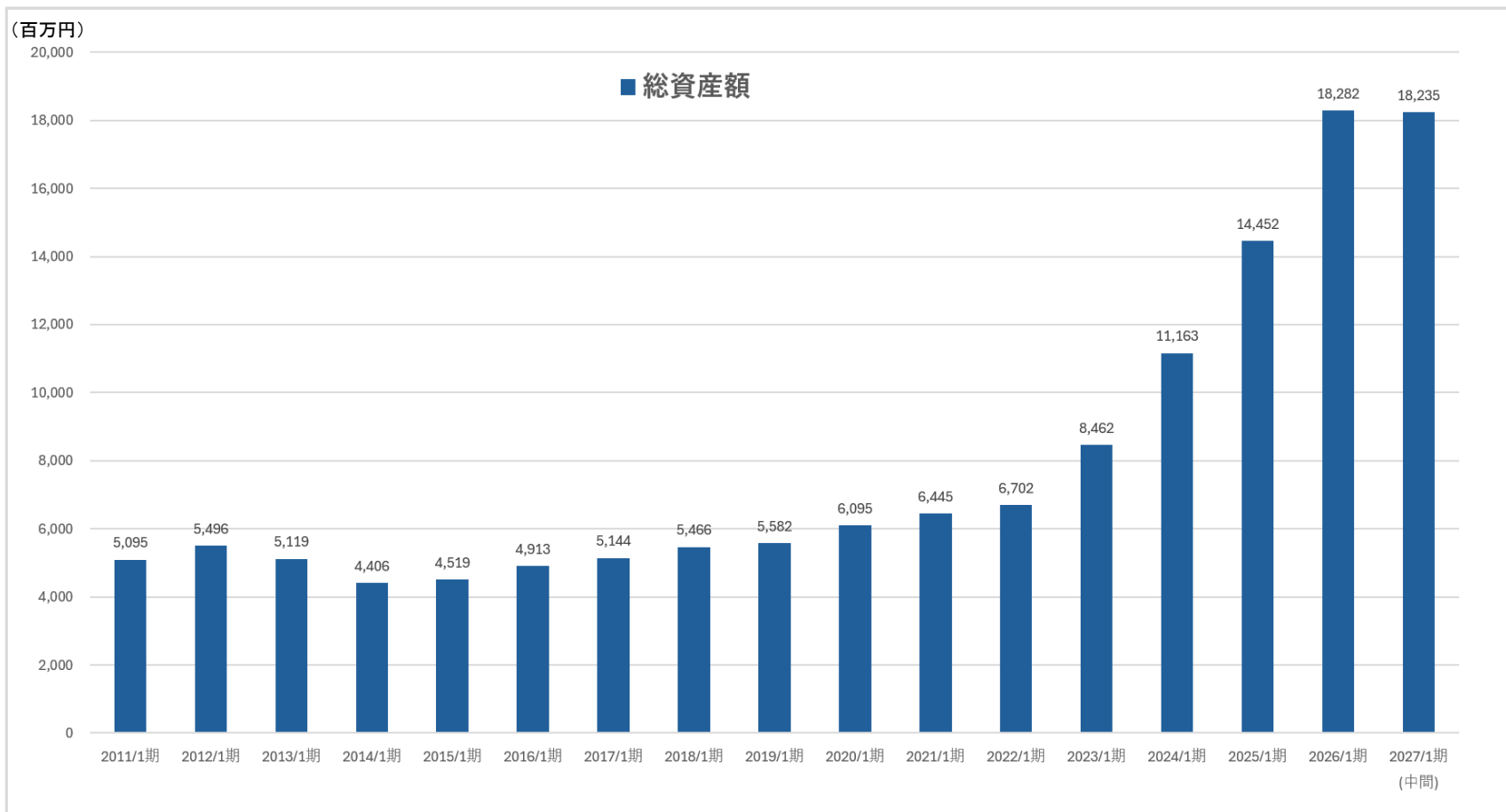


純資産と自己資本比率の推移





総資産の推移





問い合わせ先

問い合わせ先

部 署	経営企画室(渡部)
F A X	029-896-5802
E-mail	ir@yamaokaya.com
ホームページ	https://www.yamaokaya.com

本資料にて提供した情報につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性がありますのでご了承下さい。